

報道関係者各位

2018年12月12日  
BEENOS 株式会社

**当社投資先、インドネシア最大のオンラインマーケットプレイス  
「Tokopedia (トコペディア)」が  
ソフトバンク・ビジョン・ファンド、アリババ・グループなどから  
11億米ドル(約1,240億円)の資金調達を発表**

BEENOS 株式会社(東京都品川区 代表取締役:直井 聖太、以下「BEENOS」)の投資先で、インドネシア最大のオンラインマーケットプレイスである「PT Tokopedia(トコペディア <https://www.tokopedia.com/> 以下「Tokopedia」)は、11億米ドル(約1,240億円)の資金調達について本日発表いたしました。今回の投資ラウンドは、ソフトバンクグループのソフトバンク・ビジョン・ファンドと中国の電子商取引市場最大手の阿里巴巴集団(アリババ・グループ・ホールディング 以下「アリババ」)が主導し、既存株主も参加しています。

TokopediaはBEENOSの投資先の一つで、当社の出資比率は今回の投資ラウンド後も変わらず1~5%内です。

Tokopediaは、2009年に設立され、インドネシア最大のオンラインマーケットプレイスを展開しています。数百万いるとされる現地中小企業が、1億以上の商品を国内全域17,000の島々に販売しています。

同社は現在国内93%のエリアでサービスを提供しており、ここ1年間で顧客の25%への即日配達を実現し、流通総額は前年比約4倍と飛躍的な成長を遂げています。今回調達した資金をもとに、ポテンシャルユーザーを取り込むべく、最高の顧客体験の追求を通してインドネシアの経済発展と様々な金融サービスへの取り組みを推進し、ローカル企業の成長を加速させる技術開発とインフラの構築を予定しています。

TokopediaのCEOで共同設立者のWilliam Tanuwijaya氏のコメント:

「Tokopediaは、最初の9年間、インドネシア最大のマーケットプレイスを構築することに重点を置いてきました。10年目を迎える今、私たちのエコシステムを、Infrastructure-as-a-service (IaaS)へと進化させ、物流、発注フロー、支払い、金融サービス技術などをオンラインとオフラインの両面から強化いたします。テクノロジーによって私たちの事業規模の拡大とパートナー企業の業務効率を向上させ、インドネシア流通市場を民間から盛り上げるという我々のミッションを果たしてまいります。」

BEENOSは、2012年4月に同社への投資を行い、筆頭株主(2014年10月まで)として同社の支援を行ってまいりました。また、2012年1月にはインドネシア最大級のオンライン決済サービスを展開する「Midtrans(ミッドトランス)」、2015年6月にはインドネシアでB2Bマーケットプレイスを運営する「Ralali(ラルリ)」にも出資しております。今後も急拡大を続けるインドネシアのEC市場に注目してまいります。

※()内は、1米ドル=113円の換算

※本リリースはTokopedia社発表のプレスリリースをもとに記載しております。

**【BEENOS 株式会社の概要】**

- (1)社名: BEENOS 株式会社
- (2)代表者: 代表取締役社長 兼 グループCEO 直井 聖太
- (3)本店所在地: 東京都品川区北品川四丁目7番35号
- (4)設立年月: 1999年11月
- (5)資本金: 27億25百万円

以上